



JAC 北九だより NO 3

社団法人 日本山岳会 北九州支部
Kitakyushu Branch of The Japanese Alpine Club

発行所：社団法人日本山岳会
北九州支部 事務局 (日向)
小倉北区熊谷 4-14-17
TEL・FAX 093-592-0275

発行者：吉村 健児
編集人：蔵富幸夫・溝部忠増

いつまでも熱い夢を

事務局 11427 日向祥剛

JAC北九州支部は、二十世紀の最後に誕生して、二十一世紀とともに歩きはじめました。この機会に、「世紀」を意識して、百年の計を考えてみてはいかががでしょう。

この一世紀、JAC北九州支部をどうしたいのか。どうなりたいのか。どうありたいのか。JAC北九州支部の会員一人ひとりの、熱い夢の結集が、JAC北九州支部の百年を形作って行く、と思うのです。

人類は他の生物と違い、夢を持ちました。二本足で直立歩行し、火を使うことを覚え、道具を作り使いこなすことを学習し、そこから文化・文明が創られてきました。

人類の歴史は、狩猟採取から農耕牧畜へ、さらに産業革命を経て、手工業から機械工業へと発展し、蒸気から電気、そして更に電子へと進化し、いま人類は情報化の時代を迎えています。このような進化のもとは何なのでしょう。何によって進化したのでしょうか。

鳥のように、大空を自由に飛びたいという夢が、飛行機を創造し、更にロケットで星にも行けるようになってきました。魚のように海を自由に動き回りたいという夢が、船を創造し、更に潜水艦で海底にも行けるようになってきました。馬のように陸を早く走りたという夢が自動車を創造しました。

これらは事業であり、事業は「人」「物」「金」が必要条件だといわれますが、それだけでは不十分だと思います。最も重要なものは「人」「物」「金」を結びつける「技」が

不可欠だと思います。「技」を進化させるのは人間の夢だ、と思います。大きな、強い、深い、熱い人間の夢だ、と思います。

エベレストに世界で初めて登ったヒラリーとテンジンの成功は、多くの英国の支援による「人」「物」「金」が揃ったからでしょうか。それだけではなく、最も重要で、絶対に不可欠なものがあつた、と思います。それは世界一高いエベレストに登りたいという熱い熱い夢を、みんなが持ったからだ、と思います。最も大切なものは夢だと思います。

この一世紀、JAC北九州支部をどうしたいのか。どうなりたいのか。どうありたいのか。JAC北九州支部の会員、一人ひとりが思っている夢の強さ、その結集がJAC北九州支部の百年の計になるとおもいます。

夢みるその思いは、百年の計のもととなるのですが、ただ思う、それだけでは不十分です。思いは強くなければならない。思いは深くなければならない。思いは熱くなければならない。思いはたぎっていなければならない。そのたぎるような夢が、未来に展望を開き、計を計に終わらせず形にしていく、何よりの力になり、エネルギーとなると思います。

JAC北九州支部の二十一世紀が、どのような百年になるのか。どのような百年にしたのか。どのような百年でありたいのか。それを考えることは、私たちJAC北九州支部の一人ひとりの夢の、大きさ、強さ、深さ、熱さが問われることだ、と思います。

JAC北九州支部会員の夢は、熱く燃えるような夢であってほしい、と願っています。

自然保護委員からの提言

自然保護 11454 井上 佑

日本山岳協会自然保護委員会総会が7月2日、9日の二日間、広島県・宮島で開かれ、これに出席した。講演では「西中国山地のツキノワグマについて」の米田一彦氏と「宮島の自然」金井塚務氏があった。翌日は分科会に分かれ、私は「山でのトイレについて」に加わった。それ以来、大小便について考えているところである。30数年前、白馬岳からツェルト泊で後立山を縦走し、雨のため針ノ木小屋に泊まる。小屋の便所は断崖絶壁の上で囲いは有るが、板が絶壁に張出、この板の上で用便を足す、便は針ノ木谷に落ち、黒部湖に入る。今では、こんな状態は許されないが、これに近い垂れ流しの小屋も未だ有るが、小屋主もトイレの改善には費用も高くて頭を痛めているが、時代の趨勢には逆らえない。この5月、甲斐駒ヶ岳、千丈ヶ岳に登った。北沢長衛小屋のトイレでは段ボール箱が置かれ、使用したペーパーは便槽に落とさず段ボール箱に入れ、纏めて焼却し便はヘリで輸送する。昨年正月、富士山五合目の井上小屋の便所には竹筒が下げられ50円と記されていて、50円硬貨を投入したが、山に登る際に財布を下に置いて登る人も多いので財布持参の啓蒙も必要であろう。又、富士山頂から五合目迄し尿のブルドーザーでの運搬実験も行われた。この際、多くのゴミが混ざっており、菓子の包装紙・ポケットティシュの袋や生理用ナプキン・タオル・ハンカチからペットボトルまで有った、こういう物を便槽に投げ入れるとは、もっての外である。北海道では環境生活部が「し尿の持ち帰り」を普及啓発し携帯トイレを登山口で配布して携帯しない者には入山禁止すると聞いた。

トイレも浄化槽には問題がある、冬は低温の為浄化が進まず、夏はし尿の量が増え浄化能力を越えることも多く、山頂では水もままならない。

さて、我々登山者個人はどうするべきか。

日帰りの山行きでは大便是朝済ませるので、よいが、小便は1日に何回もする、男性は余り問題ないが、女性の小便が問題になるのは小便のあと紙を使用するからである。人が多く登る山頂には小道が沢山あり、入ってみると行き止まりでティシュが散乱している。女性も男のように腰を振って雫を落とし、紙を使わなければ、山はかなり綺麗になる。それに加えると、山ではティシュペーパーは禁止である。トイレトペーパーを持参しましょう。ティシュは雨に濡れても溶けず、分解しなくて何時までも残るからである。一泊以上の山行には園芸用の小スコップを持参すると良い、穴を掘り大便に土をかければ土壌菌が便を処理してくれる、岩稜や阿蘇仙酔尾根のような溶岩ではどうしようもないので携帯トイレを使用せざるを得ない。最近各社から携帯トイレが発売されているが、コストの面からは、これでなく、紙オムツの方が安くつくので、お勧めする。

西日本に於いては、山でのトイレ問題はあまり問題になっていないが、百名山を多く抱える東日本では、これに登る中高年の未組織登山者が多く、切実な問題になっている。屋久島でも来年3月には6基の仮設トイレが増設されるし、環境庁、各自治体も努力している。後は、我々登山者の意識の問題であり、これが達成されれば、日本の登山文化の高揚と共に日本の山岳は世界でも最も清潔な山として誇るべきものになるであろう。

☆☆ お誘い ☆☆

朝日新聞社がこのたび発行した「週刊日本百名山」のご購読を、みなさんにおすすめします。深田久弥さんの名作を完全再録し、山ろくの情報、動植物の話題、著名人がつづる名山追想エッセーなど、すぐに役立つ登山ガイドとなっています。毎週木曜日に配本で、全50冊、A4判変型、逆中綴じ、オールカラー36ページです。

春の総会、4月21日に関く

役員会報告
溝部忠増

2月定例役員会は、2月8日八幡東区の大谷会館で開き、次の点など取り決めました。

- ① 2001年の支部行事の予定を固める。
- ② 春の年次総会は、4月21日(土曜日)英彦山で開く。
- ③ 新入会員を歓迎する春季の山行は、5月12日～13日、韓国岳へ。
- ④ 下関山岳会をはじめ、JAC各支部との交流を深める。
- ⑤ 山々をきれいにするキャンペーン「HAT-J」に協力していく。
- ⑥ JAC本部の山岳保険加入について、さらに検討を重ねるほか。

総会の準備始まる

設立総会後の第2回通常総会が近づきました。役員会では、事前準備を始めています。会員のみなさんのご意見やご要望を、反映させていただきますので、役員までご連絡ください。

- 支部規約 改正の予定なし。
 - 支部役員 一部交代を検討中。
- みなさんからの自薦、他薦をお待ちします。
- 事業計画 年間行事を計画しています。できるだけ具体的に、確定して行きますので、みなさんぜひご参加下さい。

4月 通常総会、研修会、懇親山行

21日 国民宿舎「ひこさん」で開催
研修会：安全登山の基礎知識
(講師：検討、協議中)
「英彦山」山行

5月 春季山行：新入会員歓迎登山

12日～13日 「韓国岳」山行
○ 研究会「北アルプスの魅力を語る集い」
27日 北九州国際会議場

6月

7月 懇親山行

21日 「皿倉山」山行、懇親会
「皿倉山薬用樹木園」の見学
河内温泉「あじさいの湯」

8月 夏季山行 検討中

候補地 上高地、山研、北アルプス

9月 第18回全国支部懇談会：石川・加賀大会

29日～30日 加賀温泉種宿泊
白山北方稜線 三方岩岳登山 (1,736m)

10月

11月 秋季山行

3日～4日 「伯耆大山」山行
3日～4日 宮崎ウエストン祭に参加

12月 年次晩餐会

1日 本部行事 高輪プリンスホテル
○ 支部忘年岳人の集い、報告会
2日 大谷会館
○ 越年山行

31日 「福智山」山行

1月 新年岳人の集い(講演会、懇親会)

20日 会場は検討中

2月 雪山山行 検討中

3月 ○ 支部報発行

○ 総会準備

その他ご希望の企画がありましたら提案して下さい。

—◇—◇—◇—◇—◇—◇—◇—◇—◇—

山行プランのご連絡を

会員が主宰している山行や会員の所属する山の会の山行プランを実施3ヵ月前までに、ご連絡下さい。別表のように掲載して、みなさんの便を図ります。参加のご予約はなるべくお早めに、担当の山行委員または編集委員まで。

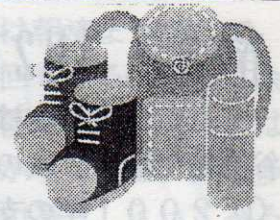
◇◇ 編集後記 ◇◇

21世紀の幕開けは、思わぬ雪に日本中が戸惑ってしまい、自然の力を再認識しました。

梅の花がほころび始め、春は確実に近づいてきています。総会が近づき、事務局も忙しくなっていますが、北九州支部を発足させ、会員のみなさんに、少しでも役立っているのだろうか、と考えます。会員相互のコミュニケーションをもっと活発にするためにも、みなさんの原稿をお待ちします。

溝部忠増、西岡 譲、山本 守、日向祥剛

J A C 5月例会

新緑の韓国岳へお誘い

1934年、わが国最初の国立公園に指定された霧島火山群、その最高峰を歩きます。古事記には空国(からくに)とあり、虚国獄(からくにだけ)ともいわれていたそうです。23座の火山の眺望をたのしみましょう。前夜の宿では、山々のよもやま話で、交流します。お仲間を誘って、ご参加下さい。

●と き 平成13年5月12日(土)～13日(日)

一泊二日 小雨決行

●集 合 *正午 JR下関駅前 東急インホテル前

*午後0時30分 JR小倉駅北口 KMMビル前

*午後0時50分 八幡西区引野口 高速バス停

(市内バスとはちがいますので、おまちがいのないように。)

*午後1時50分 九州自動車道 基山SA

日 程 5月12日(土)

下関→小倉→九州道→えびのIC→えびの高原→霧島神宮

☆宿 霧島町 民宿 登山口温泉

TEL 0995-57-0127

5月13日(日) 約5時間歩く

宿→えびの高原→登山口→えびの高原(入浴)→えびのIC→九州道→小倉→下関

※健脚の方は大浪池を歩く予定

●持 参 品 雨具、軽登山靴、着替え、帽子、水筒ほか。

※5月12日夕食→13日の昼食(弁当)は、現地で用意します。

●定 員 35人(定員になり次第締め切ります)

●参 加 費 JAC会員 19,000円 (会員外の方 21,000円)

※特別な事情のない限り、キャンセルされても払い戻しはしません。

予約締切 平成13年4月25日(水)までに

日本山岳会北九州支部事務局

日向祥剛あて 〒803-0864 北九州市小倉北区熊谷4-14-17

TEL/FAX 093-592-0275

※なお、予約時点で会費の振込送金を、お願いします。

振込先 福岡銀行 北九州卸市場支店(440)

普通口座 1223234

口座名 日本山岳会 山本守